

## 令和 4 年度における災害医療対策の実施状況について

**1 協議会等の実施状況****(1)岩手DMA T打合せ会**

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大、県内における感染者への対応等の状況により、開催を見送ったもの。

**(2)岩手県災害拠点病院連絡協議会**

実施日：令和 5 年 3 月 28 日（火）

会 場：盛岡市内丸周辺

参集者：災害拠点病院連絡協議会委員

実施概要：①委員の改選に伴う会長の選出及び会長の任命

②岩手DMA T運営要綱の改正

③令和 4 年度・令和 5 年度の事業概要及び次期保健医療計画に向けた確認

**2 災害時実践力強化事業（継続事業）**

大規模災害の発生により多数の要救助者・避難者が発生した場合、発生直後から中長期にわたって適切に医療を提供するためには、医療従事者、救助関係者、行政職員等の密接な連携や実践力の強化が必要となることから、これら災害医療・救急救助に携わる人材育成研修を実施する。

((1)～(6)が岩手医科大学への委託で実施、(7)が県立中央病院への補助により実施予定だったもの)

**(1)災害医療コーディネーター養成研修（H26～継続）**

開 催 日：令和 4 年 12 月 4 日（日）

会 場：岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター

受 講 者：県の委嘱を受けた災害医療コーディネーター及び災害時にコーディネーターと協力し医療救護班等の活動調整業務等を行う保健医療担当行政職員等

受講者数：18 名（令和 3 年度：43 名（オンライン開催）、令和 2 年度は開催見送り）

実施概要：コーディネーターの概要の説明の他、地域・本部のグループごとに机上訓練を実施

講義内容：○ 災害医療コーディネーター・災害時小児周産期リエゾンについて

○ 近年の災害医療対応の事例等について

○ 災害時の情報通信・E M I S（広域災害救急医療情報システム）

○ 机上（本部立ち上げ）シミュレーション ほか

**(2)災害保健医療従事者研修（H25～継続）**

開 催 日：令和 4 年 11 月 7 日（月）

会 場：岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター

受 講 者：行政職員、岩手県の委託を受けた災害医療コーディネーター、被災者の健康調査、健康指導等を行う保健師、看護師、薬剤師、栄養士等の医療従事者等及び県医師会が編成する医療救護班（J M A T）等

受講者数：20 名（令和 3 年度：20 名、令和 2 年度は開催見送り）

実施概要：被災者の健康確保・指導に係る知識・手法を習得し、災害医療概要（急性期～避難生活の時期）、災害医療コーディネート体制等を習得するための研修会を開催

講義内容：○ 災害医療概論（急性期～慢性期）

○ 災害時の情報通信

○ E M I S 操作方法

○ 各種事例報告（新型コロナウイルス感染症・クラスター対応）

### (3)岩手DMAT隊員養成研修（H26～継続）

開催日：令和4年7月28日（木）～29日（金）

会場：岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター

受講者：災害拠点病院又は二次救急病院の医師、看護師、事務員等

修了者数：18名（令和3年度：22名、令和2年度：21名）

講義内容：県内で災害が起きた場合、初動で出動するDMATの体制強化を図るため、災害医療概論（急性期）や通信、トリアージ等の研修会を開催

### (4)E M I S（広域災害救急医療情報システム）操作研修会（H27～継続）

開催日：令和4年11月21日（月）、11月22日（火）

会場：11月21日 岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター

11月22日 久慈市防災センター

受講者：消防職員、保健所職員、市町村職員、災害医療コーディネーター、災害拠点病院のDMAT隊員及び事務職員、二次救急病院の職員

受講者数：33名（令和3年度：35名、令和2年度：26名）

実施概要：広域災害救急医療情報システム（E M I S）の意義や、実際の操作方法の説明講義内容：E M I S 操作方法の演習（緊急時入力・詳細入力、医療チーム・避難所・救護所・照会検索機能等）

### (5)岩手災害医療ロジスティクス研修

開催日：令和5年1月12日（木）

会場：岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター

受講者：各種災害派遣チーム隊員及び関係者等（職種は問わない）

受講者数：9名（令和3年度：11名、令和2年度は開催見送り）

実施概要：各種支援チームにおける業務調整員としての役割や、災害時の情報収集手法・伝達手段を取得する

講義内容：災害医療概論、情報通信等

### (6)岩手DMATロジスティクス研修

開催日：令和5年1月13日（金）

会場：岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター

受講者：岩手DMAT隊員及び岩手DMAT隊員養成研修修了者等

受講者数：8名（令和3年度：9名、令和2年度は開催を見送り）

実施概要：災害発生時に設置する各種本部内における関係機関との調整方法や、病院支援等の基本的な手法についてブラッシュアップする

講義内容：災害医療概論、情報通信等

#### (7)外傷初期診療講習会（H22～）【開催見送り】

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大、県内における感染者への対応等の状況により、開催を見送ったもの。（例年7月頃開催）

### 3 災害医療人材育成緊急強化事業（岩手医科大学への補助事業）

全国的に不足している災害医療人材を全国レベルで育成するほか、今後発生が予測されている首都直下型地震等の大規模災害への災害医療体制の強化を図ることを目的として実施。

#### (1)日本災害医療ロジスティクス研修

開催日：令和4年9月4日(月)～6日(火) 3日間

会 場：岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター他

受講者：全国の災害医療に携わる人材、職種不問

受講者数：26名

実施概要：大規模災害時、被災県に支援に入る医療チームとして、円滑な情報収集・統制、資機材や支援物資の運搬、十分な生活環境の確保などロジスティクス能力の向上を図るため、個人の能力向上だけでなく他組織間の連携強化を図るもの。

講義内容：○ ロジスティクス等に関する災害医療の施策  
○ 災害時の医療と公衆衛生を支援するロジスティクス  
○ 通信・情報処理実習  
○ 実践研修（2日間） ほか

#### (2)日本災害医療ロジスティクス研修（冬季編）

開催日：令和5年2月1日(水)～2日(木) 2日間

会 場：岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター、岩手県八幡平市

受講者：14名（全国の災害医療に携わる人材、職種不問（ただし「日本災害医療ロジスティクス研修」の受講歴がある者に限る））

実施概要：冬季に災害が生じた際の対応方法を実践し、冬季災害対応におけるロジスティクス能力の向上を図る。

講義内容：○ 冬季間における活動の留意事項  
○ 冬季運転技術講習・車両整備実習  
○ 雪崩災害・凍傷について  
○ テント設営実習

## 4 各種訓練実施状況

### (1)岩手県総合防災訓練

実施日：令和4年10月29日(土)

主催者：岩手県、大船渡市、陸前高田市、住田町、大船渡地区消防組合消防本部

会場：大船渡市 越喜来小学校、山村広場、大船渡市総合福祉センター、大船渡病院ほか  
陸前高田市 陸前高田市コミュニティホール、陸前高田市総合交流センター、東日本大震災津波伝承館 ほか

住田町 世田米小学校、世田米中学校、住田町運動公園駐車場 ほか

参加機関：97機関・団体

学校法人岩手医科大学、陸上自衛隊、釜石海上保安部、県警察、 ほか

(日本赤十字社岩手県支部、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、  
県立中部病院、岩手DMAT、岩手DPAT ほか)

岩手DMAT 7チーム(29名)参加

※当初8チーム(34名)参加予定であったが、新型コロナウイルスの感染や濃厚接触等の状況により変更となったもの。

訓練想定：10月28日(金)夜から29日(土)の未明にかけては前線がゆっくり南下し、活動が活発となって大船渡地域では1時間に80mm以上の猛烈な雨の降る所があった。29日(土)朝には大船渡地域で天気は回復したところ、午前8時30分頃、岩手県内でかなり強く長い揺れを感じた。

震源地は、宮城県沖で震源の深さは10km、地震の規模(マグニチュード)は8.7、大船渡市、陸前高田市の最大深度は6弱であり、沿岸部に大津波警報が発表された。予想される津波の最大波の高さは15m、大船渡港への津波到達予想時刻は9時00分とのことであった。

この地震及び津波により、大船渡地域全体において、ライフライン施設及び道路等が損壊したほか、多くの建物が損壊又は流出して、各地で死傷者や行方不明者が発生し、人命の救助救出、医療救護、避難等の必要が生じた。

また、降り続いていた降雨により、気仙川、盛川の上流域では、土砂災害が発生し、家屋、道路等への損害、死傷者を出した。更に、盛川、気仙川下流域で内水による浸水害や堤防に洗掘や漏水発生の可能性が高まり、住民避難や応急対策が必要となった。

訓練項目：避難所における感染症予防対策訓練・口腔ケア訓練、避難所における見守り、健康相談訓練、避難所での巡回診療訓練、岩手県災害派遣福祉チーム(DWAT)調整・活動訓練、岩手DPATリエゾン活動訓練、J-SPEEDを活用した避難所における関係機関調整訓練、多数傷病者トリアージ訓練及び搬送訓練(救急車・海保ヘリ)、応急救護所設置・運営訓練、DMAT活動拠点本部設置運営訓練、岩手DPATリエゾン活動拠点本部設置運営訓練、医薬品供給訓練、医薬品等仕分け訓練、遺体搬入訓練 ほか

#### 【実施結果～岩手DMAT関係～】

新型コロナウイルスの感染流行の影響もあり、短時間の訓練であったが、各拠点本部の立ち上げや搬送調整等、応急救護所や避難所の開設・運営について確認することができた。

一方で、訓練実施時間帯の都合もあり、DMATが関係する訓練では、活動拠点本部に集合してからの活動開始という本来の流れで実施できなかったため、今後の訓練においては、実災害と同様の流れによる訓練となるように検討・調整を行う。



活動拠点本部



患者搬送訓練（海保ヘリ）



応急救護所開設・運営訓練



応急救護所開設・運営訓練



避難所開設・運営訓練（J-SPEED 訓練）



避難所開設・運営訓練



避難所開設・運営訓練



避難所開設・運営訓練



## (2)東北ブロックDMAT参集訓練【中止】

実施日：令和4年10月8日(土)

※開催県である青森県において、令和4年8月に発生した大雨災害による被害及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大から開催を中止としたもの。令和5年度に改めて実施予定。

主催者：青森県、青森DMAT

会場：青森県内（調整中）

参集者：東北6県及び新潟県のDMAT隊員

岩手県からは10チーム52名の参加予定だったもの。

訓練項目：青森県内を会場に大規模地震や台風被害を想定した実動訓練及び検証会を実施

## (3)衛星電話通話訓練

実施日：令和4年度 4回（令和3年度：3回）

①7月15日(金) ②9月16日(金) ③11月18日(金) ④1月20日(金)

参加者：各災害拠点病院（11病院）、医療政策室 ※第2回のみ県央保健所が参加

実施内容：衛星電話を使用した各災害拠点病院間の通話訓練

訓練方法：連絡網方式で各病院が受信と発信を実施、機器の使用方法、通話内容を正しく伝達できるかを確認した。

### ＜実施結果＞

実施日	受信		発信	
	成功	不通	成功	不通
7月15日(金)	10病院	1病院	10病院	1病院
9月16日(金)	11病院	0病院※1	11病院	0病院※1
11月18日(金)	10病院	1病院※2	10病院	1病院※2
1月20日(金)	10病院	1病院	11病院	1病院

※1 県央保健所がスラヤXTにより参加したが、当日の電話状況が悪く、受発信ができなかった。

※2 中央病院が訓練開始前に電波状況を確認したところ、電波状況を改善することができず、訓練参加を事前に見送ったもの。

### 【実施結果】

○ 過年度と同様に、ワイドスター以外の機種で発信／受信が上手くいかないケースがあった。

なお、令和4年度はワイドスター以外の機種を積極的に使用することを目的として、訓練において前回と異なる衛星携帯電話を使用することを各病院に依頼した。

○ 令和5年度以降の衛星電話訓練においては、EMISへの入力を合わせて実施する訓練について検討・調整を行う。